

渋谷区歯科医師会・警察歯科医会の取り組み



○坂本 眞理子¹⁾, 鈴木 洋一¹⁾, 佐々木 和也¹⁾, 加藤 潮¹⁾,
岩原 香織²⁾, 齊藤 義章¹⁾, 長田 博史¹⁾, 都築 民幸²⁾

¹⁾公益社団法人 渋谷区歯科医師会 ²⁾日本歯科大学生命歯学部 歯科法医学講座



災害対策の経緯と現状

近年の災害発生に際し、渋谷区歯科医師会(以下、本会と略)では物的支援を行った。それとともに、自区の被災や早期復興も視野に入れた災害対策を行ってきた。対応目標とする災害や医療救護活動内容、その他備蓄品の決定には、他団体との認識の共有や連携が必要となってくる。医療救護班活動に関しては、医療従事者の一員として活動することを考えるも、他団体の考えや対応に左右されるところもあり、対策が進んでいるとは言えない現状である。一方、身元確認班活動に関しては、目的が明確であり、警察との連携強化による他団体への働きかけも行え、対応が進んでいる。

医療救護活動資器材の整備

区長が訓練を見学された際、災害時に身元確認班が使用する歯科用デジタルエックス線画像撮影装置の有用性を認め、購入が決定された。

これは、事前の公助の一つであるという認識を行政に理解してもらった結果と捉えている。

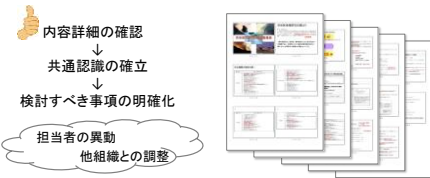
歯科医師会で購入、整備した他の資器材もあわせ、簡易な使用マニュアルを作成し、だれでもが使用でき、確実な検査が行えるよう、整えていく。



現状の詳細と問題点

医療救護活動に関する行政との勉強会開催

本会が行う医療救護活動の具体化を目指し、地域防災計画記載の医療救護活動内容を再確認する勉強会を行った。



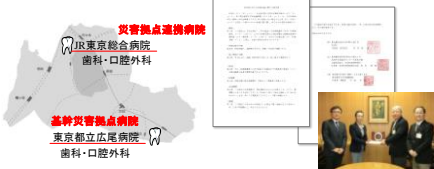
渋谷区3警察署との合同訓練開催および協定締結

区3警察署と本会との身元確認合同訓練を毎年1回、実施している。これは、「災害発生時および事件・事故における身元確認に関する協定書」に基づくものである。



行政、歯科大学病院との協定締結

区内病院歯科では拠点病院指定などの理由により、口腔顔面外傷患者への対応は困難と想定されるため、渋谷区・区外歯科大学病院・本会と患者受け入れに関する協定を締結した。



訓練の目標設定と事後検証会の実施

毎年の訓練では目標を設定し、その達成度の確認と次年度訓練への還元を目的とし、事後検証会を実施している。

平成25年度訓練目標
とにかく、やってみよう
渋谷警察署連発

平成26年度訓練目標
警察と歯科のそれぞれの役割を認識し、連携を確認する
渋谷警察署連発

訓練：現場での死後資料採取
事後検証会：死後歯科記録の清查

平時の身元確認事例の資料整理

災害時のさまざまな資料整理の訓練として、平時の身元確認事例に関する台帳管理や資料等の作成を行っている。



平成27年度訓練目標 聴聰寺 (区退休収容所)
平成26年度 訓練目標に加え、見返しができる検査資料をとる
提出用のデンタルチャートを完成させる

訓練：現場での死後資料採取、死後歯科記録清查
事後検証会：生前資料の確認、照合・異同判定の検証

死後資料と生前資料を比較し、照合・異同判定表を作成
同一人である・ない等の根拠を提示

死後資料採取の目的の確認
根拠に基づく歯科的個人識別の実践
判定不能なものへの対応

平時からの確実な身元確認の実施

検査が困難な遺体の資料採取や照合・異同判定が難しい事例に対し、大学へ協力を依頼し、検査や資料採取、報告書作成の指導を受けている。

検査が困難な遺体の資料採取や照合・異同判定が難しい事例に対し、大学へ協力を依頼し、検査や資料採取、報告書作成の指導を受けている。

平成28年度訓練目標 ケアコミュニティ・原宿の丘 (区退避所)
各団体の発災後の活動とその流れを確認する
歯科の活動を他団体、区民に知ってもらおう

訓練：現場での死後資料採取、死後歯科記録清查
反省会：訓練での気付き

事後検証会：訓練の振り返り
今後の課題
災害対策への取り組みに対する要望

清潔不潔の区別 検査機器の習熟
ダブルチェック 会員への周知
医療救護班活動

発災
↓
捜索・救出
↓
搬入
↓
検視・検査
↓
歯科検査
↓
連携対応